

210

2

しがン氏は決して山羊には手運ではあか
 った。いつれ同じい合に山羊をなくしてしま
 った。それうな日々に、牧羊は必
 しし彼等を引留めることは出来なかつた。ど
 んな代償を支拂つてでも、のびやかな空氣と
 自由とを得ようとする、独立不羈の山羊ども
 であつたらしい。
 人の好いスガン氏は、山羊どもの性格には
 何ら理解するところをなかつただけに非常
 に憐れいであつた。もう数日だ。己のうち
 の山羊は必死に必死で行く。一匹が居つきは

別行

888

スガン氏の山羊

888